

所属 総合文化コース	職名 教授	氏名 中井 幸比古	大学院における研究指導担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
		2006年4月～	①毎時間、講義のためのプリント・復習教材を作成し、授業の要点がわかりやすくなるように配慮した。 ②種々の録音資料を学生に聞いてもらい、多様な音声の実態を伝えるとともに、調音音声学の基礎を固めるべく努めた。また、音声分析ソフトによる研究方法を紹介した。		
2 作成した教科書、教材、参考書					
		2006年～	講義のための授業プリントに加え、下記『音声研究入門』(2005)・『はじめて学ぶ日本語学』(2011)・『日本語アクセント入門』(2012)の執筆箇所、「日本語アクセントの三つの問題」『神戸外大論叢』65-1(2015)などを用いて、日本語の音声・アクセントなどに関する授業を行った。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・共 著の別	発行または発表の年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
[上方ことばと江戸ことば]「お国ことば」[ラジオ・テレビと標準語]	単著	2016年1月	『日本文化事典』丸善		92-93、94-95、 116-117
『小豆島諸方言のアクセント資料』	共著	2017年3月	徳島大学	◎中井幸比古、岸江信介、 峪口有香子、島田治	11-134
「京都弁の癖」	単著	2018年1月	『日本語学』2018年1月号		26-36
宮崎県西臼杵郡高千穂町岩戸方言について－四つ仮名を中心に－	単著	2018年4月	神戸外大論叢, 68(2)		93-110
近世以降の「西陣」の地理・地名をめぐって	単著	2018年7月	京都地名研究会第49回地名フォーラム		口頭発表
「各地の方言：近畿」	単著	2018年10月	『日本語学大辞典』東京堂出版		851-852
「国語辞典の意味記述をめぐって－着尺・御召・緋	単著	2019年3月	『方言・音声研究』11号		67-81

について一」				
「京都西陣地区の地点表示法 一 函子を中心に一」	単著	2019年4月	『地名探究』17	29-34
「関西人はエセ関西弁を見破れるか」	単著	2019年9月	『方言の研究』5	115-139
「京都方言における「おへこ」の語義・語源について」	単著	2020年3月	『方言・音声研究』12号	77-80

Ⅲ 学会等および社会における主な活動

～現在	日本語学会会員・2009年6月～2012年5月編集委員
～現在	日本音声学会会員
～現在	日本語教育学会会員
～現在	日本言語学会会員
～現在	社会言語科学学会会員